



「『昭和百年浪漫銘仙展』大正から昭和へと流行を紡ぐキモノ」 を開催します！

【strong point/ここが言いたい！】

古民家 de 銘仙プロジェクト第四弾として「『昭和百年浪漫銘仙展』大正から昭和へと流行を紡ぐキモノ」を開催いたします。

昭和元年から数え、今年令和7年はちょうど100年目。銘仙が流行したのも今から100年ほど前でした。

その記念すべき年に、当時の女性たちを虜とした大正から昭和にかけてつくられた約45点の銘仙作品から、流行の変遷を感じていただける展示を開催いたします。

今回の企画展では、最も古いもので大正13年～14年ごろに生産された解し模様の銘仙からはじまり、戦後の銘仙の第三次ブームを牽引した伊勢崎併用緋のキモノまで、昭和初期から昭和35年ごろにかけてつくられた銘仙を時代ごとに展示します。

- 日時：令和7年4月26日（土）、27日（日）いずれも11時～18時まで
- 場所：「よりどころ」秩父市番場町11-14
「寺内織物母屋」秩父市道生町7-1
- 入場料：無料



篠原隊員Instagram

【next plan/今後の事業展開】

詳細は篠原隊員のInstagram等で発信しております。今後も企画展を開催予定です。

産業観光部産業支援課

担当者：篠原、花輪

☎：0494-25-5208

FAX：0494-25-0136

